

第7回執行委員会③

6月24日（木）12時～ かめや

国労

蘇我運輸区分会ニュース

安全衛生委員会より

当分会より竜崎分会長が委員として参加しており、毎月の報告書が職場内に掲示されたり、タフレット内に掲載しています。が、先月の報告書で竜崎さんの発言が掲載されていなかったため「何だよ、何もしやべんなかったのかよ」と思い、確認したところ改善されない繰り返しの案件や、労務に関するものは掲載出来ないとのことでした。この委員



専門家による指導で、より完璧に近づけるので

はどうかという案が出されました。

会の性質上、後者は致し方ない部分もあるかもしれないかもしれませんが、前者については例えば毎度毎度の要求であっても、職場内社員の切実なものであることから、省略せずに会議内での議事録的に全て記載してほしいとの声が出ました。

また、現在も検診センターから職場訪問が訪れているようですが、職場内で行なわれているコロナ感染予防対策をチェックしてもらって

利用者（声）人間らしい対応がなくなるようで不安。困ったらすぐ助けてくれる人間がいる。そんな社会が絶対良いです。

（利用者の声）ホームに人がいなく確認したいことが出来ない。職員がいないと分からないまま行動せざるを得ない。

これに関連したわけ

地本による

利用者アンケート
地本がまとめた資料を基に、先月執行委員会より毎回いくつかがづつ取り上げ、議論してこうとなりました。

ではないでしょうか。

ではありませんが、会議では東京地下ホームに案内要員の配置要求を決めました。



以前いた警備員はコスト削減の一環で当然のように削られてしまっています。が、あの人たちがいるだけでも、ホーム上の秩序や安全に関する利用者の安心感は確実にあったように思います。会社にしてみれば、赤字を理由に「待ってました」とばかりの削減であったことが伺えますが、そんな程度の考え方で良いのでしょうか。安全もサービスも切り捨てられたような駅構内で、やたらどうでもよいような自動放送

がやかましく流れ続ける・・・利用者ほったらかしの鉄道会社に未来はあるのでしょうか。特に京葉線は、不慣れた利用者が多いことから、以前から案内要員を要求し続けた経緯もありますが、利用者本人たちの生のこうした声を無視することは許されません。

駅においても企画業務とかで、窓口に社員がいない状況が作られつつあるようです。いつからそんな淋しい鉄道会社になってしまったのでしょうか。明るく人間らしい社会をJRが先頭に立って作ってほしいものだよ。

JRは今こそ鉄道会社の原点に帰れ！

☆ 職場の若い皆さん！私たちと働かされさまや生活面など色々な話をしてみませんか？！